

(基本目標6) 人づくり、参加・協働

1. 環境・SDGs教育

SDGsとは、“Sustainable Development Goals”の略称で、「持続可能な開発目標」と翻訳されています。2015年9月の国連サミットで採択され、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための2030年までの国際目標です。17のゴールと169のターゲットから構成されており、環境・社会・経済の3つの側面を総合的に解決する考え方が強調されています。

1-1 出前授業・環境講演会など

市では地域や小学校等を対象に出前授業や環境講演会を開催しております。令和5年度は、5回実施し、615名が参加しました。

令和5年度 環境授業・環境講演会実施内容

No.	日付	対象者	テーマ	参加人数
1	5月10日	越ヶ谷小学校5年生	SDGsの初歩ガイダンス	127
2	10月5日	明正小学校5年生	大相模貯水池周辺の生き物について	158
3	2月13日	光陽中学校1年生	環境とSDGsの初歩ガイダンス	225
4	2月13日	令和5年度「協働のまちづくり研修会」参加者 (市民活動支援課、こしがや市民活動連合会)	SDGs 第13項目 気候変動について考えよう	70
5	2月15日	一般社団法人中小企業家同友会 東部支部会 会員	越谷市の脱炭素への取組	35

※上記の他、各小学校で実施している生物多様性子ども調査の授業に、市の職員が参加し、環境サポーターと共に学習支援を行っています。

1-2 越谷生物多様性子ども調査

市内の小学校のビオトープにおいて、平成24年度から始まった越谷生物多様性子ども調査を行っています。越谷市独自の指標生物調査で、子どもたちが学校やビオトープ周辺のトンボの生息状況を調べ、活動を通して越谷市の環境の現状について知り、調査結果を元に生きものにとってやさしいまちづくりについて考えます。令和5年度の調査では越谷市内の小学校で、トンボの成虫が28種、ヤゴが17種確認されました。



1-3 児童館ヒマワリの環境学習事業

児童館ヒマワリのテーマ「生物と環境」には、子どもたちが人と自然の調和や動植物を慈しみ生命を尊重する心を持ち、科学する心を培っていくという願いが込められています。また、こどもエコクラブ活動の推進により、地球環境を保護するなど、環境形成者としての実践力を育成することをねらいとしています。令和5年度末現在、4クラブ564人が登録を行っています。

○主な実施事業

①科学にひたるひととき in 越谷 2023

科学に興味をもつ子どもが、大人を含めて楽しめるような本格的な科学教室を開催し、科学に対する興味関心をさらに高めることをねらいとしています。

開催日	テーマ
7月30日(日)	大道仮説実験「どっかーん」－専門的な知識を持っている講師による、本格的な科学教室－

②わくわく科学教室

学校では経験できない生物の観察やいろいろな科学実験、自然を生かしたものづくり等を行いながら、自然や環境も含めた様々なことを学び、科学への興味・関心を高めることをねらいとしています。

回	月	日	曜	内 容
①	4月	16日	日	植物で染物に挑戦
②		29日	土	高分子ポリマーの秘密と植物インテリア
③	5月	21日	日	メダカの飼い方教室
④		27日	土	焼き物にチャレンジ①(2回講座)
⑤		28日	日	いろいろなお花のインテリアをつくろう
⑥	6月	3日	土	紫外線ビーズストラップとUVレジンのアクセサリー
⑦		11日	日	ペットボトル水族館をつくろう
⑧		24日	土	焼き物にチャレンジ②(2回講座)
⑨		25日	日	カブトムシの飼い方教室
⑩	7月	2日	日	昆虫トラップ作戦!
⑪		9日	日	カブトムシ標本づくりに挑戦Ⅰ(2回講座)
⑫		16日	日	金メダル・銀メダル・銅メダルをつくろう!!
⑬		22日	土	化石のレプリカをつくろう
⑭		23日	日	いい声で鳴かそう!スズムシ教室
⑮		23日	日	ミニミニビオトープをつくろう
⑯		26日	水	世界のカブトムシとクワガタ
⑰	8月	20日	日	カブトムシ標本づくりに挑戦Ⅱ(2回講座)
⑱		27日	日	カブトムシのジオラマを作ろう
⑲	9月	10日	日	いろいろなスライムをつくろう!
⑳	10月	15日	日	科学の不思議『シュワシュワ』バスボム作り
㉑		22日	日	クリスタルソープで宝石せっけんをつくろう!
㉒	11月	11日	土	開けてビックリ!!イワシの解剖
㉓		23日	祝	粉雪の降るスノードームをつくろう
㉔		26日	日	牛乳パックで再生紙をつくろう!
㉕	12月	10日	日	リースを作ってクリスマスをむかえよう
㉖		17日	日	すてきなクリスマスキャンドルをつくろう
㉗	1月	13日	土	焼き物にチャレンジしようⅠ(2回講座)
㉘		14日	日	手作りカイロを作ろう

㊸		21 日	日	楽しい菌類
㊹		4 日	日	アクアリウムで素敵なインテリア
㊺	2 月	10 日	土	焼き物にチャレンジしようⅡ（2 回講座）
㊻		18 日	日	生物標本でアクセサリーをつくろう（封入標本）
㊼	3 月	3 日	日	ペットボトルでセントポーリアを育てよう

③ヒマワリこどもエコクラブ

米作りを通し、健康・水・生物などの関わりから環境について考え、一人ひとりの環境保全に対する意識を高めることをねらいとしています。（9 回実施）

2. 環境・SDG s 活動

2-1 こしがや環境サポーター

市民や団体、教育機関等における環境配慮活動等への協力、支援を進めながら地域における自然環境保全、普及啓発活動を幅広く推進していくため、越谷市では、登録制による「こしがや環境サポーター」制度を平成 27 年度から開始しました。サポーターとして登録された方は、地域や学校などの求めに応じ、環境イベントへの協力や、学校の環境学習への支援を行っています。

令和 5 年度末現在登録数：市民サポーター 26 名、学生サポーター 0 名、企業サポーター 18 社

令和 5 年度活動内容

日 時	イベント名	内容	参加者数
6 月 27 日	コシガヤホシクサ栽培への協力	コシガヤホシクサの植替え	2 名
6 月 29 日	特定外来生物防除	クビアカツヤカミキリ勉強会	14 名
8 月 2 日	フジバカマ保護活動	フジバカマ自生地にて除草作業	3 名
10 月 7 日	オオオナモミ除去活動	葛西用水でのオオオナモミ除去と清掃、 キタミソウの観察	44 名
11 月 22 日	コシガヤホシクサ栽培への協力	コシガヤホシクサの種子採取	2 名
2 月 24 日	キタミソウ観察・清掃活動	葛西用水での清掃とキタミソウの観察	11 名
3 月 25 日	環境サポーター交流会	年度事業報告と 次年度事業計画説明	14 名
通年	越谷生物多様性子ども調査支援	トンボ調査学習支援など	延べ 51 名



キタミソウ保護活動



環境サポーター交流会

2-2 協働事業

市では、市民団体との協働による活動も推進しています。令和5年度はNPO法人越谷ふるさとプロジェクトと共催で事業を実施しました。

(ア) 川をめぐる子ども体験バスツアー

平成28年から越谷市内を流れる川とつながる地域を訪問し、水と自然環境について体験的に学習することを目的に、市内の小学生を対象に「川をめぐる子ども体験バスツアー」をNPO法人越谷ふさとプロジェクトと一緒に実施しています。

令和5年度は森林整備協定を締結した小鹿野町を目的地とし、「宮沢賢治も訪れた秩父地域で、埼玉の奇獣「パレオパラドキシア」の化石を見て、太古のロマンを感じよう。」をテーマに実施しました。

日 時：令和5年8月10日(木) 午後8時30分～午後5時

会 場：午前 おがの化石館

午後 赤平川河原

内 容：おがの化石館の見学、講師による地層・化石の講義および河原での化石採集と自然遊び（ストーンバランスング）

参加者：市内在住の4年生以上の小学生 19名

(イ) 親子ふれあい自然体験教室

令和3年度より「自然物を使った工作をすることで、自然の楽しみ方や自然との接し方を深める」、「親子で一緒に作業をすることで、好ましい関係を構築する」、「体験活動を通して、感受性、想像力や表現力を高める」ことを目的に親子ふれあい自然体験教室を実施しています。

○親子ふれあい自然体験教室～自然でオシャレしちゃおう～

日 時：令和5年7月2日(日) 午後1時30分～午後3時30分

会 場：水辺のまちづくり館大会議室

内 容：アウトドアや非常時に役立つロープの使い方を学ぶ、器具によるミサンガ作り、サバイバルブレスレットの作成

参加者：市内在住の小学生以上の親子8組（計19名）



○親子ふれあい自然体験教室～クリスマスクラフトを作ろう～

日 時：令和 5 年 12 月 10 日(日) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

会 場：水辺のまちづくり館大会議室

内 容：リース 2 種類（木の枝だけの物、木の実とミズゴケをつけた物）、松ぼっくりのモビール、
オーナメント（輪切り、ミニサンタ、ミニ天使、木の枝トナカイ、ゴッドアイ）の作成

参加者：市内在住の小学生以上の親子 9 組（計 18 名）



○親子ふれあい自然体験教室～春の自然遊び～

日 時：令和 6 年 3 月 17 日(日) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

会 場：水辺のまちづくり館大会議室

内 容：春の自然探しと草花遊び、春の野草を活ける、簡単な工作体験

参加者：市内在住の小学生以上の親子 10 組（計 19 名）



2-3 こしがやSDGsパートナー

(ア) 制度の概要

本市では、第5次総合振興計画及び越谷市環境管理計画において、各施策をSDGsの17のゴールと結び付け、連携して展開していくこととしています。

今後更にSDGsの目指す「誰一人取り残さない」持続可能な社会を実現するためには、行政のみならず、本市にかかわる企業や団体、市民一人ひとりと、ともに推進していくことが必要となります。そこで、共に手を携えSDGsの目標の達成や地域課題の解決に向けた取組を推進していくため、令和5年2月1日よりこしがやSDGsパートナー制度を開始しました。企業、NPO、団体、教育機関、個人、行政等が本制度を起点に連携を深め、将来にわたる持続可能なまちを次世代につないでいくため取組を行っていきます。

○こしがやSDGsパートナーの要件

①対象

- ・市内に事業所等を有し、又は市を拠点に活動している企業、団体、教育機関、特定非営利活動法人、その他の団体、又は個人事業主
- ・市内に在住し、在勤し、在学し、又は活動する個人

②応募要件

- ・SDGsの達成につながる取組をしている・する意欲があること
- ・市や他のパートナーとともに、SDGsの達成や地域課題の解決、SDGsの普及啓発に取り組む意欲があること

③パートナーになると

- ・パートナーには、登録証、こしがやSDGsパートナーオリジナルロゴマークの木製SDGsピンバッジを提供します。（企業には県産木材で作成した木製盾の登録証も発行します。）
- ・パートナーの取組を市のホームページ等でPRします。
- ・パートナー間のネットワークづくりを支援します。
- ・SDGs関連事業等についての情報提供を行います。
- ・こしがやSDGsパートナーオリジナルロゴマークを使用できます。

※木製ピンバッジ・盾については、森林環境譲与税を活用し作成しています。

○オリジナルロゴマーク

向かい合った2羽のしらこぼとが大空に向かって飛び立つ様子を描き、SDGsに取り組み、市が飛躍していく姿を表現しています。

こしがやSDGsパートナーの登録者については、申し出があればデータを送付し、名刺やホームページなどへの活用することができます。



(イ) 活動実績

〇こしがやSDGsパートナー登録者数

こしがやSDGsパートナー登録者数（令和6年3月末現在）

	登録数	内訳	内訳登録数	合計
企業・団体等	147	企業	119	168
		団体	13	
		特定非営利活動法人	2	
		個人事業主	8	
		教育機関	3	
		その他団体	2	
個人	21			

〇こしがやSDGsパートナー 市ホームページ掲載用宣言書

こしがやSDGsパートナー登録者のうち、希望する場合は、「市ホームページ掲載用宣言書」を提出することができます。

提出された宣言書については、市公式ホームページへ掲載を行います。商品名などを掲載することも可能で、各活動のPRに有効に活用いただいています。

掲載数：52（令和6年6月末現在）

こしがやSDGsパートナー 市ホームページ掲載用宣言書	
企業・団体・個人名	該当するゴール
紹介・これまでの活動など	今まで力をいれて来たSDGsの活動 これから力をいれていきたいSDGsの活動
所在地： 電話番号：	代表者名： HP：

〇こしがやSDGsパートナー1周年イベント～気候変動を考えよう～

制度創設の1周年にあわせて、パートナー間の横断的なネットワークづくりを推進するため、パートナーが一堂に会するイベントを開催しました。また、一般の方にも参加していただき、広く意見を交換する場を設けました。

日 時：令和6年2月21日(水) 午後2時～午後4時

会 場：中央市民会館第17・18会議室

内 容：市によるパートナー制度の年間活動報告

パートナー（武蔵野金属株式会社および株式会社さいたま資材）による取組内容の報告

埼玉環境科学国際センター温暖化対策担当による基調講演「地球温暖化（影響と対策）」

4もしくは3人一組となり一人1分ずつ発言しSDGsや気候変動についての意見交換を実施

参加者：企業12（21人）・団体2（3人）・NPO法人1（1人）・その他団体1（1人）・個人事業主2人・個人1人 計29人

登録前団体1（1人）登録前個人7人 計8人 総合計37人